



県政報告 Vol.27

2024.6月発行



愛知県議会議員 神谷まさひろ

「日記で綴る県政報告Vol. 27」をお届けします。今回は2月定例愛知県議会から6月議会までの間、様々な行事への出席など議員としての活動の一端を紹介しています。ぜひともご一読頂き、県政を少しでも身近に感じて頂けたら幸いです。



5.9 木 ▶ 観光協会総会 ジブリパークとのシナジーを

『令

和6年度刈谷市観光協会通常総会』に出席しました。

観光協会の主な事業は…

- ①桜まつり開催事業
- ②西三河フォークジャンボリー共催事業
- ③大名行列山車祭共催事業
- ④万燈祭共催事業
- ⑤刈谷わんさか祭り開催事業
- ⑥野田雨乞笠おどり支援事業
- ⑦刈谷アニメcollection(アニコレ)開催事業
- ⑧刈谷駅イルミネーション共催事業

などで、年間の決算総額が約1億5146万余円という大きな組織です。

また、新年度は刈谷市歴史博物館北駐車場を、市内宿泊施設向け大型バス駐車場として試験的に貸出すことも計画されています。



「自然に触れて感動したり、祭りでワクワクしたり、歴史に触れて先人の営みを学んだり、音楽に心癒されたり、アニメやイルミネーションで街が活気づいたり、『観光』は人生に彩をもたらしてくれます。そういった意味では観光行政は非常に重要です。愛知県の昨年度の観光における大きな目玉は、何といてもジブリパークのグランドオープンです。海外・全国からジブリパークに来られた観光客の周遊するまちとして、刈谷市の観光行政が益々発展することを祈念しています」…来賓としてこのような主旨の挨拶をさせて頂きました。

5.17 金 ▶ 衣浦港の整備促進と交通安全協会 2つの総会に出席

『午

前中、衣浦港整備促進期成同盟会の総会に出席しました。会長は4月に新らしく碧南市長に就任された小池ゆきこ市長さん、議長も務められました。

衣浦港では3月18に策定した衣浦港港湾脱炭素化推進計画に基き、カーボンニュートラルポートに取り組んでいます。具体的には…

- ①水素等の受入環境の整備
 - ◎液化水素運搬船による海上輸送
 - ◎受入基地の整備
- ②港湾オペレーションの脱炭素化
 - ◎船舶への陸上電力供給
 - ◎荷役機器・トラック・門型クレーンのFC化
- ③港湾地域の脱炭素化

◎石炭火力発電所におけるアンモニア混焼



午後からは、愛知県交通安全協会刈谷支部の定期総会に出席しました。

全国で最も交通事故死者数が多かったのは1970年で16,765人。現在はその6分の1以下にまで減少しました。その要因としては、①安全対策という点での車の性能向上(エアバックや自動ブレーキなど) ②道路や信号・標識・ガードレールなどの整備推進 ③法整備の充実や取り締まりの強化 といったハード・ソフト両面での充実が挙げられますが、それ以上に重要なことは安全運転に向けた市民一人ひとりの意識を高めることであり、それこそがこの協会の目的ではないかと思います。

5.18 土 NPOラルあゆみさん『ちよこっとささえあい事業』をスタート

特

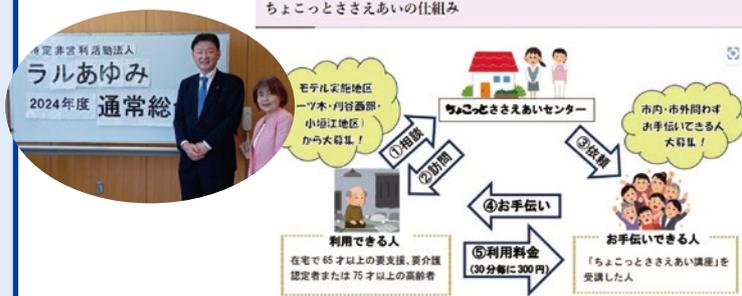
定非営利活動法人ラルあゆみさんの2024年度通常総会に出席しました。

昨年20周年を迎えて次のステップでの活躍が期待される法人です。その一つとして今年の6月より刈谷市の事業である『ちよこっとささえあい事業』を受託することになりました。これは、65歳以上の要支援・要介護認定者及び75歳以上の人が在宅生活で抱えるちょっとした困りごと

を解決するため、市民ボランティア活動センター内にちよこっとささえあいセンターを設置し、利用者とサポーターのマッチングを行うものです。今年度は一ツ木・刈谷西部・小垣江地区でモデル事業として実施します。

来賓挨拶の機会を頂きましたので「この事業は理事長の畑さんが、ラルあゆみを立ち上げた時に社会貢献として最もやりたかったことを事業化したものですね」という主旨の挨拶をしたら、終了後「神谷さん、よくぞ言ってくれました。全くその通りで、障害者や高齢者の困りごとを助けることを目的にラルあゆみを立ち上げました。原点に戻った気持ちです」と仰っておられました。

ややもすると福祉をビジネスの視点で取り組んでいる福祉事業者が見受けられる中、人のお役に立ちたいという気持ちで誠意を持って取り組んでいる立派な法人です。



5.20 月 油ヶ淵水辺公園 『油ヶ淵の夏』というイベントが開催されます

安

城・碧南・刈谷・知立・西尾・高浜市で構成する油ヶ淵水辺公園整備促進協議会(会長:三星安城市長)の総会に出席しました。

「油ヶ淵水辺公園」は、愛知県内に11か所ある県営都市公園のうち、西三河地域で初めての県営都市公園として、県下唯一の天然湖沼である「油ヶ淵」の貴重な水辺の環境資源を生かして、自然とふれあえる憩いの場及び県民の協働の場となるよう、事業が進められています。

2006年に事業認可がされた第1期エリア35.7haのうち現在12.6ha、割合にして約35%が供用開始されており、昨年度の利用者は30万6千人でした。事業認可から18年が経過しても僅か35%の供用開始ですから整備の速度は決して早いとは言えず、この協議会では地元選出の国会議員さんらと共に国への要望活動も行っています。今後も魅力あふれる公園として早急に整備されるよう期待しています。

夏』というイベントが開催されます。今年の夏は、チームで戦う「水でっぼう合戦」や「ゴム金魚&スーパーボールすくい」などの参加型プログラムや「はたらくくるま」の展示など盛りだくさんの内容となっています。また、キッチンカーによる飲食販売も行います。場所は「安城市側」の自然ふれあい生態園です。



ところで・・・わざわざ「安城市側」と書いたのは、油ヶ淵水辺公園には碧南市側で整備されたエリアもあって、私自身先日も間違えて碧南市側の「水生花園」に行ってしまったことがあるのです。最も、こちらは花しょうぶが見頃で大いに楽しむことが出来ましたので、間違えたことは結果オーライでしたが。

その「油ヶ淵水辺公園」では6月29日(土)、『油ヶ淵の

5.22 水 建設委員会とアジア・アジアパラ競技大会推進特別委員会の所属に決定しました

愛

知県議会は臨時議会が開催され、議長・副議長・監査委員・委員長など議会の新たな役職と委員会の所属が決定しました。

新たな議長には直江弘文議員(名古屋市港区選出:11期)副議長には新海正春議員(岡崎市及び額田郡選出:3期)が選ばれました。私は初めて建設委員会とアジア・アジアパラ競技大会推進特別委員会の所属となりました。

正副議長の選任後、県文化施設の活性化推進に向けた検討調査の実施や、私立幼稚園における医療的ケア児の受入れ環境の整備に係る補助等を盛り込んだ、総額1億4,966万余円の一般会計増額補正予算始め10件の議案並びに県税条例の一部改正に係る専決処分1件について、大村知事から提案説明が行われました。本会議場で議案質疑が行われ

た後、委員会での審査を経て、午後2時から再開した本会議において提案したすべての議案が議決されました。



5.23 木 河川や道路整備推進のための3つの会議に出席しました

刈 谷市総合文化センターで行われた3つの会議に出席しました。『境川・猿渡川水系改修促進同盟会総会』『名古屋岡崎線建設推進協議会総会』『衣浦豊田道路建設推進協議会総会』の3つで、何れも会長は刈谷市長、事務局も刈谷市が務めています。この内、『境川・猿渡川水系改修』と『名古屋岡崎線』について現在の進捗状況を紹介します…

『境川・猿渡川水系改修』

- ◎境川・逢妻川においては、平成29年度までに年超過確率1/5規模の流下能力を確保することが全てできている。
- ◎現在は更なる治水安全度の向上を図るため、年超過確率1/20規模に対応する河床掘削を下流から進めており、今年度は、写真の赤色で表示した部分の河床掘削工を実施している。
- ◎境川と逢妻川の間にある中堤については、整備計画に位置付けられた、河口から600mまでの区間(黒色着色で中堤撤去とある部分)の撤去を令和4年度までに完了。

境川・逢妻川(知立建設事務所)



- ◎境川では石ヶ瀬川との合流点の下流部右岸において、河道拡幅のための護岸工事に令和4年度から着手しており、引き続き今年度も赤色で「境川護岸工」と表示の部分を実施する。

境川・逢妻川(知立建設事務所)



- ◎逢妻川では、「洪水調節池」の整備が令和4年度までに完了。この「洪水調節池」は、南北約1.3km、東西約400mの河川敷地を利用して、洪水時に毎秒30立方メートルの洪水調節効果を持たせる。
- ◎平常時は刈谷市が「運動広場」として活用するために現在整備中。
- ◎逢妻川の東海道本線 上流右岸側(赤色で「逢妻川 河道拡幅工」と表示の部分)で昨年度から引き続き河道拡幅工を施工する。
- ◎猿渡川は、昭和50年代から、年超過確率1/5規模の降雨に対応する改修を行ってきたが平成26年3月に整備計画の策定を行い、現在は年超過確率1/10 規模に対応する整備を進めている。

猿渡川(知立建設事務所)



- ◎今年度は下流部において、名鉄三河線上流部での河床掘削工を実施する。

『名古屋岡崎線』

- ◎刈谷市内では、豊明刈谷工区とオアシス橋工区において事業を進めている。



- ◎豊明刈谷工区のうち刈谷市側については、昨年度に用地取得が完了した。

- ◎工事については豊明市側での橋梁工事のほか、取付部の道路築造工事などを進める。
- ◎オアシス橋工区については、昨年度までに関係機関との協議が完了しており、今年度は、橋梁工事に先立ち、

ヤード整備工事に着手する。

- ◎境川に架かる豊明市と刈谷市を結ぶ橋の名前は約1年間の協議を経て「尾張三河橋(おわりみかわはし)」に決定した。

5.27 月 名古屋三河道路「知多地域及び西三河地域を東西に貫く高規格道路」の推進

名

名古屋三河道路推進協議会(会長:稲垣刈谷市長)総会に出席しました。



名古屋三河道路は、岡崎から→安城→刈谷→境川を渡り→東浦町→知多市→名古屋港を結ぶ、知多地域及び西三河地域を東西に貫く高規格道路であり、名古屋港や中部国際空港へのアクセス性を高めるほか、伊勢湾岸自動車道とのダブルネットワーク機能により、国土強靱化にも資する重要な道路です。

2022年3月に西知多道路から名豊道路までを優先整備区間に設定し、現在「概略ルート・構造の検討」が進められ、今後、都市計画・環境アセスメントの手続きが行われる段取りになっています。また、2022年4月には重要物流道路にも指定されています。

この協議会では、この道路の整備促進のため国や県、その他の関係機関への要望活動を行っています。私も県議の立場で整備推進に尽力して参ります。

5.29 水 総合式典の挨拶で「県立高校の空調設備」[STATION Ai]を紹介しました

刈

刈谷市総合式典に出席しました。様々な分野で功績を上げられ本日の式典において表彰・感謝状を受けられた皆様にお祝いを申し上げますと共に、日頃のご尽力に心から敬意を表します。

受付で配られた本日の資料の「令和5年度 写真で見る主な事業」の中から、愛知県の事業と絡ませながら2項目、来賓挨拶として次のように申し上げました。

- ①刈谷市は令和5年度までに小中学校の体育館・武道場全てに熱中症対策と避難所の機能強化の目的で空調設備が設置されました。愛知県は本年度から4年間掛けて145校全ての県立高校に設置をします。刈谷市内にある4つの県立高校の内、本年度は刈谷北高校に整備されます。
- ②刈谷市が行った「刈谷スマートウェルネスプロジェクト」が優秀な取り組みとして愛知県に採択され、先日、他自治体への横展開のためのプレゼンが立派に行われまし

た。スマートシティを推進する力になるのはスタートアップ企業です。そのスタートアップの支援拠点が10月31日に名古屋の鶴舞にオープンします。そこから様々なイノベーションが起きることを期待します。



イノベーションと言うと「技術革新」だけに捉えがちですが、「社会システムを変革したり」「社会そのものを良い方向にすること」もイノベーションです。そしてイノベーションは「多様な主体が出会い交流すること」から始まります。

そういった意味では、それぞれの地域や団体で活躍しておられる皆様方が出会い交流することで、イノベーションが起きて刈谷市が更に良いまちになって行くことを期待しています。

発行／神谷まさひろ事務所

住所／〒448-0028 刈谷市桜町3-45
TEL／0566-23-0344 FAX／0566-23-1399

紙面の都合上、一部の内容しか掲載することが出来ません。私のHPでは日記をほぼ毎日更新していますのでぜひご覧下さい。
<http://kamiya.gr.jp> 神谷まさひろ 検索

